



◀ 境夢みなとターミナルに寄港するクルーズ船。



山陰
まんなか
共和国

● 中道・穴道湖
● 大山圏域

市長会 通信①9

● 圏域の魅力的なスポット紹介

境夢みなとターミナルは、税関、出入国管理、植物検疫等のC I Q機能※を完備しています。開放感あふれる待合ホールや秀峰大山と美保湾が一望できる展望コナー、クルーズ客船寄港時に船を間近で見学できる展望デッキを備えています。

中海・穴道湖・大山圏域から北東アジアへ向けた海の玄関口として、ふさわしい機能が充実。

また、待合ホール・展望デッキ・会議室・駐車場の貸し出しを行っており、大規模なイベントや見本市から少人数

の勉強会まで幅広く利用できます。皆さんの来場をお待ちしています。※C I Q機能とは・・・customs (税関)、immigration (出入国審査)、quarantine (検疫)の頭文字をとったもので、出入国手続の総称。

開館時間 9時～18時
休館日 毎週(水)
入館料 無料(無料駐車場完備)
※詳しくは、境夢みなとターミナルHPをご覧ください

● 第1回中海・穴道湖・大山圏域市長会 総合戦略推進委員会 (8月24日)

圏域版総合戦略に係る令和2年度事業実施状況の検証・評価を行いました。

● 合同勉強会・意見交換会 (10月11日)

中海・穴道湖・大山ブロック経済協議会との合同勉強会・意見交換会を開催しました。

合同勉強会では松原宏氏(東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長)をお招きし、今後の地域経済社会や圏域の課題について講義をいただきました。

合同意見交換会では、圏域5市の市長、圏域の各商工団体の代表により、「これからの圏域振興について」をテーマに、圏域のインフラ整備促進や産業振興などの意見交換を行いました。

問い合わせ：中海・穴道湖・大山圏域市長会事務局
☎0852-55-5056

安来市加納美術館日より
(最終回) ☎36-0880

修学旅行先に
選ばれています

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年から小中学生の修学旅行(教育旅行)の行き先が県内に限られています。市加納美術館も平和学習を目的として、県西部の小中学校から修学旅行先に選ばれるようになりしました。加納莞菴の平和を求めての活動が道徳教材や社会科の教科書に掲載されたことも大きく関わっているようです。

雲南市の永井隆記念館と同様に県内で平和について学習できる施設として、修学旅行先として知られるようになりました。なお、安来市内の中学生は7年前から平和学習のため毎年当館に来ています。

この秋も県西部の中学校からは修学旅行先として、松江市の中学校からは校外学習(遠足)の目的地として選ばれています。月山富田城跡や和銅博物館、安来節演芸館もコースに含まれるケースが多く、修学旅行は安来のファンを増やすのにも



▲ 記念碑の前で話を聞く修学旅行生たち。

一役買っているようです。当館のキャッチフレーズは「平和を求め続けた画家の美術館」。これからも市内外を問わず、皆さんに親しまれ、より愛される存在になるよう、努力していきます。ぜひご来館ください。

○企画展 加納溥基コレクションから「備前焼に魅せられて」と炎

会期 令和4年1月12日(水)～4月11日(月)
・同時開催 「加納莞菴の想い 次世代に」

※詳しくは市加納美術館まで問い合わせください。

